



Challenge Zero



## ソリューションプロバイダーとして 社会に貢献

### (一社)日本化学工業協会

一般消費者の生活や経済活動に必要な製品にとって重要かつキーとなる機能を担う部材を供給する化学産業。

今回は多くの産業や暮らしを支える化学産業を束ね、資源循環型社会に向けCCU(二酸化炭素回収・利活用)・人工光合成やケミカルリサイクルなどの技術開発・社会実装による地球温暖化問題への解決策を追求する日本化学工業協会の取り組みを紹介する。

#### 産業界のイノベーションを支える化学産業

多種多様な素材の提供を通じて産業界のイノベーションを支える化学産業。2050年カーボンニュートラル実現に向け、化学産業は快適、便利な生活を支える製品・サービスを提供するだけでなく、様々な課題を解決する「ソリューションプロバイダー」として社会に貢献することが求められている。

日本化学工業協会は、こうした化学産業を取り巻く環境変化を捉え、産学官との連携の下、生産・流通・技術・環境などの調査・研究、対策の企画・推進を通じて化学工業の健全な発展、ひいては日本の経済発展、国民生活の向上に取り組んでいる。

政府の方針である「2050年カーボンニュートラル」の実現には、あらゆる産業分野で革新的なイノベーションが不可欠であることは論をまたない。その点、製品・サービスの提供を通じて様々な産業と絡み合う化学産業は、グリーン化政策に

伴いあらゆる産業で製法や材料の代替など大きな変化が起こる可能性がある中、イノベーションによる貢献度合いは非常に高い。

#### 製品のライフサイクルを通じた 温室効果ガス排出削減

持続可能な社会への転換に資する技術開発に期待が高まる中、同協会はカーボンニュートラル宣言を受け、2021年5月に「カーボンニュートラルへの化学産業としてのスタンス」を策定。政策実現に向けての化学産業の貢献のあり方について取りまとめた。

その取り組みの一つが、製品・サービスを通して顧客、社会への価値創出による貢献である。ソリューションプロバイダーとして、バリューチェーンパートナーとの協働の下、製品の使用・廃棄段階を含めたライフサイクルでの社会全体における温室効果ガス排出削減に取り組む。

例えば、水素製造技術などグリーンエネルギーの創出に必要な素材・技術の提供をはじめ、

化学品のリサイクルやCO<sub>2</sub>の回収・利活用による原料の炭素循環の推進が挙げられる。こうしたイノベーションの社会実装は、日本の産業を大きくけん引することが期待される。

ソリューションプロバイダーとして、循環型社会の視点に立ち、環境負荷低減に資する化学製品やイノベーションを提供し続ける化学産業の取り組みは今後さらに加速していく。

(国内広報部主任研究員 山本哲史)

#### 化学産業自らの排出削減 および 製品・サービスを通じた 排出削減貢献によるカーボンニュートラルの実現

